

じねんじょ「夢とろろ」出荷始まる



愛知県有数のジネンジョ産地である豊田市旭地区で11月10日（金）、ジネンジョ「夢とろろ」の出荷が始まります。「夢とろろ」は同市稲武町にある愛知県農業総合試験場山間農業研究所が育成した品種で、粘りが強く食味が良いのが特徴。旭自然薯組合では、2003年から同品種の栽培を本格化させてきました。パイプ栽培のため、まっすぐ伸びたきれいなジネンジョを採ることができます。今年は台風が少なく、気温や降水量などの条件に恵まれたことで、高品質なジネンジョが期待されます。

【取材対応】

日時：令和5年11月10日（金）9:00～10:00

場所：JAあいち豊田 旭営農センター

（豊田市小渡町七升時13-13）

JA施設へ生産者がジネンジョを出荷します

※取材にお越しの際は、事前にご連絡ください

※旭営農センターでの取材となります

※農家のほ場での取材はできませんのでご了承ください

販売日：令和5年11月20日（月）～（予定）

販売場所：JAあいち豊田旭営農センター

グリーンセンター藤岡店

出荷量：2.6トンを出荷予定

（昨年は2.4トンを出荷）



出荷時の風景や農家の取材、発送の梱包作業などが → 撮影できます。

<旭自然薯組合>

33戸の農家が所属し、合わせて約160アールの畑で1978年からジネンジョを栽培しています。

山口県から、指導を受け、県内では初のパイプ栽培を取り入れた産地で、2003年から「夢とろろ」の栽培を始めました。ジネンジョは1年かけて種イモを作り、それを植えて、さらに約7カ月かけて栽培し出荷します。



▲お歳暮など贈答用にも人気

<お問い合わせ先>

JAあいち豊田 営農生活部 旭営農センター 担当：近藤・伊藤

〒444-2846 豊田市小渡町七升時13-13 電話（0565）68-2223

または、広報課 電話（0565）31-2361 E-mail k.koho@toyota.aichi-ja.or.jp

